事業案内

Corporate profile

信頼とぬくもりのある

医療と看護を目指して

マスコットキャラクター“こころん”

JA 秋田厚生連

JA 秋田厚生連

（秋田県厚生農業協同組合連合会） https://www.akitakouseiren.or.jp/

JA秋田厚生連の施設

かづの厚生病院
〒018-5201　秋田県鹿角市花輪字向畑18
TEL.0186-23-2111（代表）

北秋田市民病院（指定管理者）
〒018-4221 秋田県北秋田市下杉字上清水沢16-29
TEL.0186-62-7001（代表）

能代厚生医療センター
〒016-0014　秋田県能代市落合字上前田地内
TEL.0185-52-3111（代表）

湖東厚生病院
〒018-1605 秋田県南秋田郡八郎潟町川崎字貝保98-1
TEL.018-875-2100（代表）

秋田厚生医療センター
〒011-0948　秋田県秋田市飯島西袋1-1-1
TEL.018-880-3000（代表）

由利組合総合病院
〒015-8511 秋田県由利本荘市川口字家後38
TEL.0184-27-1200（代表）

大曲厚生医療センター
〒014-0027　秋田県大仙市大曲通町8-65
TEL.0187-63-2111（代表）

平鹿総合病院
〒013-8610　秋田県横手市前郷字八ツ口3-1
TEL.0182-32-5121（代表）

雄勝中央病院
〒012-0055 秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡25
TEL.0183-73-5000（代表）

本 所（秋田県JAビル6階）
〒010-0976 秋田県秋田市八橋南2丁目10-16
TEL.018-864-2621（代表）

JA秋田厚生連
スマートフォン向けサイト

役立つ情報盛りだくさん!
アクセスお待ちしています

2022年度版

信頼とぬくもりのある医療・看護を　　目指して

基本理念

ＪＡ秋田厚生連は、農家組合員をはじめ地域住民が
健康で豊かに安心して暮らせるように貢献します。

信頼と
ぬくもりのある
医療の提供

保健予防活動を
通じた地域住民の
健康管理の充実

福祉活動を
通じた高齢者の
自立・生きがい
づくりの支援

JA秋田厚生連の4つの誓い

私たちは、皆さまに親しまれ、
信頼をもって来院していただける病院を目指し、
“4つの誓い”をお約束します。

❶おもてなし
地域の皆様を笑顔で迎え、あたたかみ・思いやりを込めて接します。

❷癒　し
地域の皆様が癒されるような病院を目指します。

❸高度医療
地域の皆様のニーズに応え、良質な医療を提供します。

❹地域貢献
地域に対して公的医療機関の役割・機能を果たします。

Contents

01 厚生連の理念・誓い
理事長あいさつ・沿革
03 組織図
04 県内病院配置図
05 事業内容
07 病院紹介 かづの厚生病院
08 北秋田市民病院
09 能代厚生医療センター
10 湖東厚生病院
11 秋田厚生医療センター
12 由利組合総合病院
13 大曲厚生医療センター
14 平鹿総合病院
15 雄勝中央病院
16 JA 秋田厚生連 本所
17 人材育成
19 職員紹介
21 福利厚生

私たちは、”４つの誓い”のもと、「ホスピタリティ（おもてなし）」精神の醸成にむけた取組みを推進し、利用者の皆様に満足していただくだけではなく、一歩進んで、感謝・感動されるサービスの提供を目指します。

理事長あいさつ

秋田県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長　**小野地 章一**

ＪＡ秋田厚生連は、県内各地域に9病院を配置し、医療法に基づく公的医療機関としての指定を受けるなど、医療・保健事業を積極的に展開しております。それぞれの病院が地域の中核的医療機関として位置付けられ、救急医療、小児医療、周産期医療、がん医療、へき地医療、災害医療など幅広い医療機能を担っており、地域において無くてはならない存在となっております。

昨今のコロナ禍にあっても、当会は県内全域における感染症医療の最前線に立って取り組んでいるところでありますが、一方でコロナ禍は病院経営にとっても著しい事業環境の変化をもたらし、医療を取り巻く情勢は一層厳しいものとなっております。

そのような中でも当会は、各地域における中核的医療機関として、安全・安心で質の高い医療を継続的かつ安定的に提供していく責務を担っております。そのため、事業環境の変化を踏まえ新たに策定した中期計画「第二期経営健全化計画」のもと、一層の経営・財務基盤の安定化・健全化と、環境の変化に柔軟に対応した医療提供体制の構築を目指し、今後も地域医療の一層の充実に向け、役職員が一丸となって取り組んでまいります。

目的と事業

目　的	この会は、会員が協同してその事業の振興を図り、もってその組合員の農業の振興、経済状態の改善、社会的地位の向上に寄与することを目的とする。
事　業	1. 医療に関する事業 2. 保健に関する事業 3. 老人の福祉に関する事業 4. 前各号の事業に附帯する事業
設立年月日	昭和23年8月2日（認可） 昭和23年8月12日（登記）
会員数	15会員（内連合会2） （令和4年3月31日現在）
出資金	46億4,145万円 （令和4年3月31日現在）

沿革

ＪＡの医療事業は、明治33年に制定された産業組合法のもとで、大正8年から広がった窮乏している農村の無医地区解消と低廉な医療供給を目的とした運動が始まりです。

秋田県においては、昭和7年に秋田医療利用組合の開設以後、旧制の郡の中心地に医療購買利用組合を設立し、病院を開設しました。その後、秋田県農業会に移管され、昭和23年同会の解散に伴い、農協法のもと秋田県厚生農業協同組合連合会（ＪＡ秋田厚生連）となり、昭和26年には医療法31条に規定する公的医療機関としての指定を受けました。

私たちは地域の皆様に安全で、安心される医療を提供することを通じて、今後も地域社会に貢献していきます。

昭和７年	秋田医療利用組合が設立され、秋田市古川堀反に病院を開設
昭和８年	平鹿、山本、五城目、由利医療購買利用組合が設立され、横手市、能代市、五城目町、本荘市にそれぞれ病院を開設
昭和９年	雄勝、仙北、鹿角医療購買利用組合が設立され、湯沢市、大曲市、鹿角市にそれぞれ病院を開設
昭和13年～16年	各地区の中心地に設立された広区域医療購買利用組合は、町村産業組合で構成する郡連合会に改組
昭和17年	各郡医療購買利用組合連合会は、県信販購利組合連合会に統合
昭和18年	県信販購利組合連合会は、戦時農業団体統合により秋田県農業会に移管
昭和19年	県農業会は町立鷹巣病院を買収し、北秋中央病院を開設
昭和20年	秋田組合病院を秋田県立女子医専附属病院として県に寄付 代替病院として秋田土崎港の私立病院を買収、秋田組合病院を開設
昭和23年	秋田県厚生農業協同組合連合会を設立 県農業会の医療施設を引継ぎ事業開始
昭和26年	厚生省より公的医療機関の指定を受ける
昭和28年	秋田県農村医学会発足
昭和42年	農村医学研究所を開設（平鹿）
昭和43年	湖東総合病院が五城目町より現在地に移転
昭和48年	秋田県より地域センター病院の指定を受ける （鹿角、山本、湖東、秋田、由利、仙北、平鹿、雄勝）
昭和50年	秋田県より地域センター病院の指定を受ける（北秋）
平成元年	山本組合総合病院移転新築工事竣工 （附属精神病院を閉鎖）
平成　6年	由利組合総合病院移転新築工事竣工
平成12年	秋田組合総合病院移転新築工事竣工
平成17年	雄勝中央病院移転新築工事竣工
平成19年	平鹿総合病院移転新築工事施工
平成22年	北秋中央病院廃止 北秋田市民病院指定管理者制度による運営開始 かづの厚生病院移転新築工事竣工
平成26年	秋田組合総合病院から秋田厚生医療センターに名称変更 湖東厚生病院改築工事竣工 大曲厚生医療センター移転新築工事竣工
平成27年	山本組合総合病院から能代厚生医療センターに 名称変更

組織図

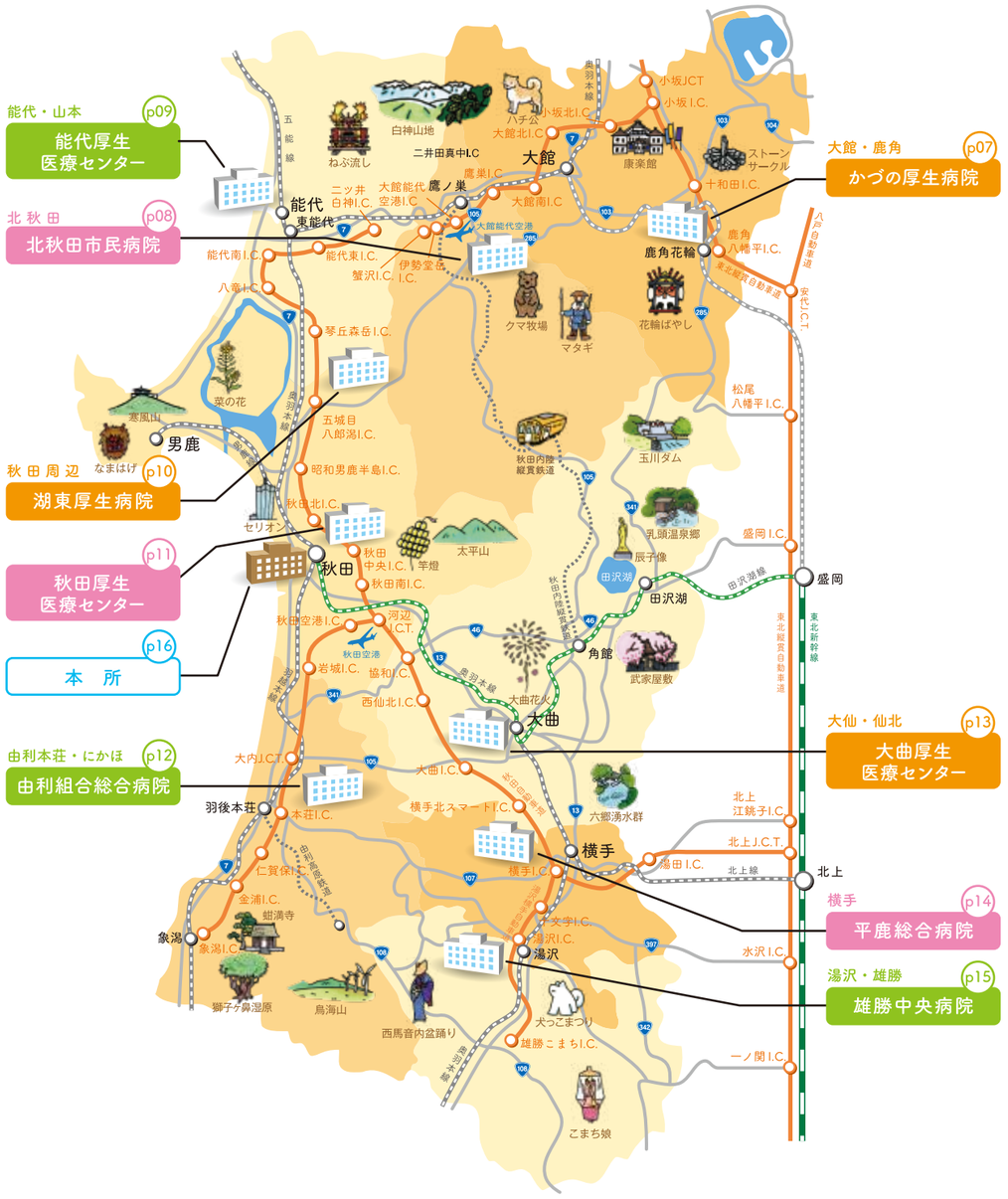
- 総会
  - 経営管理委員会
    - 会長
    - 副会長
    - 経営管理委員
  - 理事会
    - 理事長
    - 専務理事
    - 常務理事
  - 監事会
    - 代表監事
    - 常勤監事
    - 監事
- 病院
  - かづの厚生病院
    - へき地診療所
    - 訪問看護ステーション
  - （指定管理者）北秋田市民病院
    - 訪問看護ステーション
  - 能代厚生医療センター
    - 訪問看護ステーション
    - 指定居宅介護支援事業所
  - 湖東厚生病院
    - 訪問看護ステーション
  - 秋田厚生医療センター
    - 訪問看護ステーション
    - 指定居宅介護支援事業所
  - 由利組合総合病院
    - へき地診療所
  - 大曲厚生医療センター
    - 訪問看護ステーション
  - 平鹿総合病院
    - へき地診療所
    - 訪問看護ステーション
    - 指定居宅介護支援事業所
  - 雄勝中央病院
    - 訪問看護ステーション
- 本所
  - 総務人事部
    - 総務広報課
    - 人事課
    - 働き方改善推進チーム
  - 企画管理部
    - 企画財務課
    - 医療保険課
  - 事業推進部
    - 資材設備課
    - 保健福祉課
    - 情報システム課
- 本所
  - 監査室

秋田県全域に広がる厚生連病院ネットワークで、地域の皆様の健やかな暮らしを支えています。

県内に9病院を配置し、地域の皆様の健康を維持すべく総合的な医療を展開し、
基幹病院として位置付けられております。

事業所のご案内

JA秋田厚生連の施設　秋田県内8二次医療圏



私たちは 医療・保健・福祉 を一体的に 提供し、地域の皆様のいのちと健康を守ります。

医療

地域住民が求める医療提供体制を確立するため、
政策的医療の機能充実に努めます。

政策的医療として重点的に取組んでいる医療分野や機能

- 救急医療
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 災害派遣医療チーム（DMAT）の体制整備
- 地域がん診療連携拠点病院
- 周産期医療・臓器提供協力施設
- エイズ拠点病院
- 地域療育医療
- へき地医療拠点病院
- 秋田県認知症疾患医療センター

良質な医療を提供するための環境整備を進めます。

- 安心・安全な医療の提供
- 患者への医療情報提供の推進
- 医療連携～切れ目のない医療提供体制の確立
- 政策的医療を支える医療機器の整備と効率的活用
- 医療情報ネットワークシステム機能の充実
- 医療の標準化の促進・透明性の向上

医療機能の充実

地域の中核的医療機関として
医療機能の充実や技術向上を目指します。

- キャンサーボードの定期的開催
- 緩和ケアチームによる支援活動
- 高度先端技術を駆使したがん治療

地域がん診療連携拠点病院
（秋田）

地域がん診療病院
（北秋田・能代・由利・大曲・平鹿・雄勝）

がん診療に関する診療体制、設備、情報提供、他の医療機関との協力体制など一定の基準を満たしながら、信頼されるがん医療の提供及び高度ながん医療の開発推進等に取り組んでいます。各病院ではキャンサーボードの開催、緩和ケアセンターや相談支援センターの設置、外来化学療法など様々な取組みを行なっています。

日本医療機能評価機構認定病院
（かづの・由利・大曲・平鹿）

患者さんや地域住民の方が安心して選べる医療機関を目指し、第三者評価事業（病院機能評価）の認定も受けつつ、医療の質の向上や改善に取り組んでいます。

保健予防事業

- 地域保健予防活動
- 生活習慣病対策
- 各種健康診断・相談・指導
- 各種予防接種
- 市町村保健事業への支援
- 市町村保健センターとの連携
- 健康増進活動

JA秋田厚生連は、「予防は治療に勝る」をスローガンに地域住民の健康管理活動を積極的に展開しています。また、健康に対する意識を高めるため、講演、健康相談、栄養指導等も行っています。

救急医療の充実

JA秋田厚生連では、8病院が救急告示病院の指定を受け、24時間体制で救急患者に対応する体制を整備しており、初期診療及び、その後の各診療科での専門的な治療を行っています。結果として秋田県内の救急搬送患者の約半数を受け入れており、地域住民がいつでも身近で安心して受けられる医療提供体制の充実に努めています。

臨床研修指定病院

◉基幹型
（能代・秋田・由利・大曲・平鹿・雄勝）

◉協力型
（かづの・北秋田・湖東）

臨床研修では医学知識と基本的技能の習得はもちろん、医療の受け手の立場に立てる医師の育成を目指しています。

災害派遣医療チーム（DMAT）体制の整備
（かづの・北秋田・能代・秋田・由利・大曲・平鹿・雄勝）

DMATとは、「災害急性期（48時間以内）から活動できる機動性を持った医療チーム」です。地震などの大災害時には真っ先に被災地に入って医療活動や傷病者の被災地外への運び出しを担当します。JA秋田厚生連では8病院において、専門的訓練を受けたメンバーで編成したチームが不測の事態に備え、研鑽を重ねています。東日本大震災では、6病院のDMATが出動し、全国から集結したDMATと共に現地災害拠点病院の支援と負傷者の広域医療搬送を行い、被災地の医療に貢献しました。

福祉事業

訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション

県内8ステーションを運営しており、住み慣れた地域で安心して療養生活が送れるよう、医師の指示のもと、ケアマネージャー等と連携しながら、健康状態を管理し、在宅医療の中心的な役割を担っています。

居宅介護支援事業所

要介護者・家族の希望や心身の特性を踏まえ、介護保険や保健・医療・福祉サービス担当者と連携を図りながらケアプランを作成し、生活状況を定期的に確認しながら、自立した生活を営めるよう支援いたします。

かづの厚生病院

院長　吉田　雄樹

【診察科目】 計17科
精神科　神経内科　呼吸器内科　消化器内科
循環器内科　小児科　外科　整形外科　形成外科
脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科
耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　麻酔科

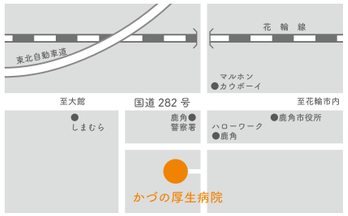
【病床数】 計199床　一般197床　感染2床
【入院基本料】 急性期一般入院料　1
地域包括ケア病棟入院料　1

【主な指定の状況】
救急告示病院
へき地医療拠点病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
臨床研修指定病院（協力型）
日本医療機能評価機構認定病院

【附属施設等】
へき地巡回診療所
訪問看護ステーション

かづの厚生病院 profile

〒018-5201
秋田県鹿角市花輪字向畑18
TEL 0186-23-2111（代表）
FAX 0186-23-3653
E-mail kazunohp@hspkazuno.kazuno.akita.jp
URL https://www.hspkazuno.kazuno.akita.jp



患者様に誠を尽くして、
皆様に「より満足いただける
医療」を提供いたします。

地域医療に
全力を尽くします

鹿角・小坂地域唯一の二次救急医療機関として急性期の医療を担う一方で、健診等の保健活動やへき地診療等、院外での医療や予防活動も積極的に推進しています。

訪問看護
鹿角・小坂地域の唯一の訪問看護ステーションとして、24時間365日在宅療養者を支援しています。

へき地医療
八幡平・十和田湖地域のへき地医療を担っています。

お見舞いメール
病院ホームページから『お見舞いメール』に入力いただくと、担当看護師を通じてお渡しさせていただきます。

常に温かく思いやりのある
患者さん中心の看護

病院の特徴

病棟のある本棟は免震構造、外来棟は耐震構造となっており、その他のライフライン設備等も充実した災害拠点病院としての機能を発揮できる施設です。

秋田県の県北地域、大館・鹿角2次医療圏にあって、鹿角・小坂地域における中核的医療機関の役割を担っております。

病院に設置されたヘリポートでは、毎年消防と合同で緊急ヘリ搬送夜間離発着訓練を行っているほか、防災・県警ヘリ及び、秋田県・岩手県・青森県の3県にまたがったドクターヘリによる搬送活動にも活用されております。

患者支援センター
入院前の外来・在宅から、退院後の外来・在宅まで、「地域連携」「医療相談」「入退院支援」の各部門で必要な情報を共有し、専門性を提供しあうことで、患者さんや地域の医療機関・福祉施設のお役に立てるよう総合的な支援を行います。

北秋田市民病院

院長　神谷　彰

【診察科目】 計21科
内科　精神科　神経科　呼吸器内科　消化器内科
循環器内科　小児科　外科　整形外科　形成外科
脳神経外科　心臓血管外科　皮膚科　泌尿器科
産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科
放射線科　歯科口腔外科　麻酔科

【病床数】
計320床　一般224床　療養48床
結核4床　精神40床　感染4床
【入院基本料】
急性期一般入院料　4
結核病棟入院基本料　10:1
地域包括ケア病棟入院料　2

【主な指定の状況】
救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
臨床研修指定病院（協力型）
へき地医療拠点病院
地域がん診療病院

【附属施設等】
訪問看護ステーション

北秋田市民病院 profile

〒018-4221
秋田県北秋田市
下杉字上清水沢16-29
TEL 0186-62-7001（代表）
FAX 0186-78-9500
E-mail top@kitaakita-hp.jp
URL https://www.kitaakita-hp.jp

北秋田二次医療圏の要
豊かな自然に囲まれた療養環境の提供
特色ある地域医療の展開

北秋田市内で唯一外科手術を担っている施設として、全身麻酔が必要な手術から、外来での小手術まで広く対応しております。手術後のフォローアップ、抗がん剤治療も含め、開業医の先生の協力を得ながら、北秋田市地域医療連携センターを核に特色ある地域医療に努めております。

『心ある医療を提供』
『最新の医療を実践』
『信頼の医療を確立』
『効率的医療を追究』

病院の特徴

秋田県初の公設民営方式（開設者：北秋田市、指定管理者：JA秋田厚生連）で、平成22年4月に開院致しました。平成23年4月に開設した療養病棟は平成28年7月より地域包括ケア病棟として稼動しております。また、平成28年12月にがん相談支援センターを開設、平成29年6月には緩和ケア外来を開設し、さらなる病院機能の向上に努めております。

大館能代空港のすぐそばにあり、広大な県立北欧の杜公園に隣接する豊かな自然に囲まれた快適な療養環境、高度な医療設備、優れた知識・医療技術に基づく質の高い医療を提供しております。

北秋田二次医療圏の要として地域の皆様の命と健康を守り、地域医療の向上と地域の皆様から信頼される病院を目指します。

病室、その他各所で四季折々の表情のある
「癒しの景色」が広がります。

能代厚生医療センター

院長　太田原　康成

【診察科目】　計24科
血液・腎臓内科　リウマチ科　精神科　神経内科
呼吸器内科　呼吸器外科　消化器内科　循環器内科
小児科　外科　消化器外科　整形外科　形成外科
脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科
耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　麻酔科
糖尿病・代謝内科　腫瘍内科

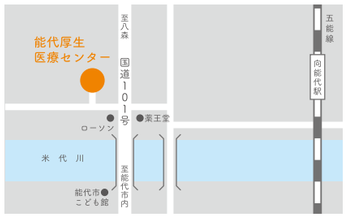
【病床数】　計393床　一般329床
精神60床　感染4床

【入院基本料】　急性期一般入院料　1
精神病棟入院基本料　13:1
地域包括ケア病棟入院料　2

【主な指定の状況】
救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院（基幹型）
地域がん診療病院
秋田県認知症疾患医療センター

【附属施設等】
訪問看護ステーション
指定居宅介護支援事業所

能代厚生医療センター profile
〒016-0014
秋田県能代市落合字上前田地内
TEL 0185-52-3111（代表）
FAX 0185-55-0123
E-mail somu@yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp
URL https://yamamoto-hosp.noshiro.akita.jp



私たちは、地域中核病院として地域の皆様の健康を守ります。

病院の特徴

広範な医療圏と幅広い医療の展開

当院の医療圏は非常に広範で、秋田県北部のほぼ全市町村の他に、青森県深浦町までの日本海沿岸に及んでいます。この広範な地域から、小児医療から老人医療、救急疾患から慢性疾患まで幅広い医療を展開しています。

救急医療

救急医療において、広範な地域の救急患者の70%以上が当院を受診され、幅広い疾患に対するプライマリーケアを提供しています。

秋田県北部と青森県南部の医療を背負う基幹病院

検診活動や訪問看護など地域保健医療にも携わり、秋田県北部と青森県南部の医療を担っています。

患者支援センター

患者さんが安心して治療を受けることができるように、『入退院支援・地域医療連携・医療福祉相談・がん相談』の4つの部門を統合し、総合的な支援に努めております。センターでは、看護師・薬剤師・社会福祉士・精神保健福祉士・事務等の多職種のスタッフが連携し、支援させていただきます。

臨床研修

臨床研修には病院全体で取組み、支え、育てようとする姿勢が最も重要です。各種カンファレンスへの参加者も増加傾向にあります。
更なる臨床研修の充実に向けて、地域全体の協力をお願いしています。

分娩件数は県内有数

能代山本圏内で唯一分娩が出来る施設です。
妊娠37週の助産師外来、産後1週間後の母乳育児外来、産後2週間後健診、産後ケア事業（宿泊型）を行っています。
また、助産師が近隣の教育機関へ出向き『いのちの出前講座』や、市町村の事業にベビータッチングケア講師として参加するなど地域貢献活動も行っています。

産婦人科常勤医4人を擁し、県内有数の診療体制を築いています。

患者さんが安心して入院生活が送れるよう支援しています！

湖東厚生病院

院長　波多野　善明

【診察科目】　計13科
内科　精神科　消化器内科　循環器内科　小児科
整形外科　脳神経外科　皮膚科　泌尿器科　婦人科
眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科

【病床数】　計100床　一般100床

【入院基本料】　急性期一般入院料　2
地域包括ケア病棟入院料　1

【主な指定の状況】
エイズ地域診療病院
臨床研修指定病院（協力型）

【附属施設等】
訪問看護ステーション

湖東厚生病院 profile
〒018-1605
秋田県南秋田郡八郎潟町
川崎字貝保98-1
TEL 018-875-2100（代表）
FAX 018-875-5269
E-mail info@koto-ghp.jp
URL https://www.koto-ghp.jp/

病院の特徴

秋田市と能代市の中間に位置する湖東地区における基幹病院として長年にわたり救急医療や保健活動を含めた地域医療を包括的に展開してきました。平成26年5月1日の新病院開院にあわせて、病院の名称が50年間に渡って慣れ親しんできた「湖東総合病院」から「湖東厚生病院」に変わりました。

「湖東地区医療再編計画」で示されているように秋田厚生医療センターと緊密に連携をとりながら「地域密着型病院」として包括的な地域医療を担ってまいります。

超高齢社会を見据えながら、「地域の人たちに信頼される安全で良質な医療を提供すること」を基本方針として、「秋田県で一番高齢者にやさしい病院」を目指し、職員一丸となって努力してまいります。

笑顔のパスポート

明るく元気に働くスタッフの姿勢は、患者さんを、病院を元気にします。当院では『もらって嬉しい、伝えて気持ちの良い笑顔～誰もが持っている無料の笑顔のパスポート』で患者さんをお迎えしております。また、もの忘れ相談、看護外来、看護部便りの発行など独自の取組を実施しています。

訪問診療

平成15年より開始した訪問診療は毎月50名前後の患者さん宅を訪問しています。病院がかかわる在宅診療の良さは、併設する訪問看護ステーションと密に連携を取りながらチーム医療を展開できることです。

総合的医療
～遙かなる全人的医療を求めて
地域と共に歩む！

究極の総合内科を目指して

内科系医師が慢性疾患の外来管理から急性疾患の入院診療を幅広く担っています。後期高齢の患者さんは、1人で多くの身体的、心理的、さらには社会的問題を抱えている場合がまれでありません。そうした患者さんに対する、より良き医療は全人的医療に理解と経験のある医師が中心となって全職種の英知を結集した形で初めて提供できるのです。多くの専門家医師が後期高齢の患者さんの回りを取り囲むだけでは患者さんや家族の方が望む医療を育むことはできません。われわれは、総合内科的視点に立った全人的医療の実践を目指して他職種の職員と共同して日々の業務にあたっています。

療養者と家族の笑顔を支えたい
湖東訪問看護ステーション

自宅で療養している方やご家族を対象に、安心した生活が送れるよう、寄り添い・思いやりのある看護の提供を心がけています。休日や夜間を含め24時間緊急時の対応や療養上の相談、各種チューブの管理、入浴できない方への援助、床ずれの処置、在宅看取り等の看護を実施しています。

秋田厚生医療センター

院長　遠藤　和彦

【診察科目】 計27科
血液内科　精神科　神経内科　呼吸器内科　消化器内科
循環器内科　糖尿病・代謝内科　小児科　消化器外科
呼吸器・乳腺外科　整形外科　脳神経外科　心臓血管外科
小児外科　皮膚科　泌尿器科　産婦人科　眼科
耳鼻咽喉科　リハビリテーション科　放射線科　放射線治療科
麻酔科　緩和ケア内科　病理診断科　腎臓内科　腫瘍内科

【病床数】 計431床　一般429床　感染2床

【入院基本料】 急性期一般入院料　1
小児入院医療管理料　4
ハイケアユニット入院医療管理料　1
地域包括ケア病棟入院料　2

【主な指定の状況】
救急告示病院
臨床研修病院（基幹型）
地域がん診療連携拠点病院

【附属施設等】
訪問看護ステーション
指定居宅介護支援事業所

秋田厚生医療センター profile

〒011-0948
秋田県秋田市飯島西袋一丁目1-1
TEL 018-880-3000（代表）
FAX 018-880-3040
E-mail akikumi@akikumihsp.com
URL https://www.akikumihsp.com

病院の特徴

秋田市北部と隣接する男鹿南秋潟上地区（人口約16万人）を担当診療圏としています。地域最大の基幹病院として最新の知識と技術に加え、より質の高い安全な医療の実現のため職員一同、医療を担うプロフェッショナルとしての自覚と誇りをもって日々の研鑽に励み、患者さんに選ばれる病院を目指しています。

1. 心臓血管病領域
急性期治療から心臓リハビリテーション（県内最大規模）にも力を入れています。

2. 整形外科領域
豊富な経験を持つスタッフと質の高い医療を提供しており、特に脊椎外科の領域は、県外からも患者さんが訪れます。

3. 消化器病領域
消化器科は内視鏡治療に特に力を注いでおり、県内でも数少ない小腸カプセル内視鏡設備を有し、外科も胃癌・大腸癌の領域で数多くの症例を誇ります。

4. 腎センター
人工透析50床が稼働する県内最大の腎センターです。社会復帰される患者さんが、生きがいや満足感のある生活が保てるように支援いたします。

5. 県内最多を受け入れる救急医療
救急告示病院として救急車を断らないことを原則とし、県内最多の救急患者を受け入れています。

患者中心の医療の実践と
プロフェッショナルの医療実現へ
安心・安全・信頼
生命の尊重と平等な人間愛

県内最大級の臨床研修病院です

夏の夕涼み会

救急搬送数県内最多！

笑顔あふれる病院です

市内で接遇No.1を目指しています。

地域住民への出張講座

多職種連携研修会

由利組合総合病院

院長　軽部　彰宏

【診察科目】 計24科
内科　精神科　神経内科　呼吸器内科　消化器内科
循環器内科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科
呼吸器外科　心臓血管外科　小児外科　皮膚科
泌尿器科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科
リハビリテーション科　放射線科　麻酔科
歯科口腔外科　病理診断科　糖尿病代謝内科

【病床数】 計606床　一般602床　感染4床

【入院基本料】 急性期一般入院料　1
小児入院医療管理料　4
地域包括ケア病棟入院料　2

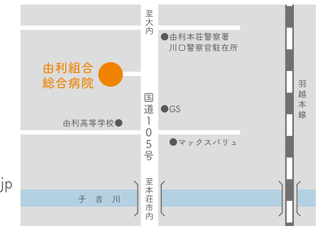
【主な指定の状況】
救急告示病院
へき地医療拠点病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院（基幹型）
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院

【附属施設等】
へき地巡回診療所
院内保育所

【受託診療所】
鮎川診療所
大琴診療所

由利組合総合病院 profile

〒015-8511
秋田県由利本荘市川口字家後38
TEL 0184-27-1200（代表）
FAX 0184-27-1277
E-mail jimusitu@yuri-hospital.honjo.akita.jp
URL https://www.yuri-hospital.honjo.akita.jp



鳥海山を臨む医療圏の基幹

医療を通して地域住民の信頼を得、人々の健康と幸せのために貢献します

病院の特徴

当院は、急性期医療を中心に秋田県南西部の由利本荘・にかほ二次医療圏（対象約10万人）における中核的な総合病院です。二次救急医療機関として、脳血管・心筋梗塞・交通事故等々、様々な疾病の治療に努めています。血管内治療や緊急手術にも対応しています。他医療機関・施設連携を図りながら、救急・急性期・在宅と包括的医療を継続して行い、保健予防活動にも積極的に取り組み、小児科・産婦人科の体制も整っており、地域住民の健康管理の期待に応えるよう努めています。

新しい生命の誕生と健やかな成長のために

由利本荘・にかほ地域で、新生児患者に対応できる唯一の病院です。産科と小児科の連携でハイリスク分娩にも対応し、母子共に安全な周産期医療を受けられる環境を整えています。

血管内治療最前線を行く

- 循環器医療
- 心臓血管外科医療
- 脳血管内医療

経験と最新の治療を組み合わせたがん医療

緩和ケア研修会

外来化学療法での調整混合

地域住民とのふれあいを大切にしています。病院祭、クリスマスコンサート、地域のつどいやボランティアを積極的に受け入れています。

大曲厚生医療センター

院長　三浦　雅人

【診察科目】 計21科

内科(血液・腎)　内科(循環器)　内科(消化器)　内科(呼吸器・アレルギー)
小児科　外科　整形外科　脳神経外科　呼吸器外科　皮膚科
泌尿器科　麻酔科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科
リハビリテーション科　放射線科　歯科口腔外科　病理診断科
糖尿病内科　脳神経内科

【病床数】 計437床　一般433床　感染 4床
【入院基本料】 急性期一般入院料　1
小児入院医療管理料　4
地域包括ケア病棟入院料　2
緩和ケア病棟入院料　2

【主な指定の状況】
救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
臓器提供協力施設
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院(基幹型)
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院

【附属施設等】
訪問看護ステーション

大曲厚生医療センター profile

〒014-0027
秋田県大仙市大曲通町8-65
TEL 0187-63-2111(代表)
FAX 0187-63-5406
E-mail info@okmc.jp
URL https://www.okmc.jp

大仙・仙北の医療拠点

安全で質の高い患者様本位の医療を提供し、信頼される病院を目指します。

病院の特徴

大曲通町地区市街地再開発事業により、JR 大曲駅前地区に一大医療福祉エリアが誕生しました。その核として隣接地に平成 26 年 5 月 1 日新築移転し、病院名称も「仙北組合総合病院」から「大曲厚生医療センター」に変更しました。

当院は県土の 18.3%にあたる広大な面積を有した地域の救急医療の砦として機能し、がん検診等保健予防活動にも積極的に取り組んでいます。特にがん医療については緩和ケア病棟を開設し、診断、治療、緩和医療、在宅看護まで一貫したがん診療を提供しています。

さらに屋上には冬期間も離着陸可能なヘリポートを設置し、救急隊員が日中待機する県内初となる救急ワークステーションも配備、救急医療の拠点センターとなっています。大仙仙北地域の公的病院として地域の皆様の健康を守るため努力してまいります。

24時間の診療体制

通常の救急診療体制に加え、消防署の救急隊員が平日の日中に常駐する救急ワークステーションを備え、救急医療の充実を図っています。

がん診療体制の充実

- リニアック(放射線治療装置)
- 緩和ケア外来
- 緩和ケア病棟
- 外来化学療法室
- がん相談支援センター

平鹿総合病院

院長　齊藤　研

【診察科目】 計25科

内科　血液内科　精神科　神経内科　呼吸器内科
消化器・糖尿病内科　循環器内科　小児科　外科
消化器外科　整形外科　形成外科　脳神経外科
心臓血管外科　乳腺外科　皮膚科　泌尿器科
産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科
放射線科　麻酔科　歯科　病理診断科

【病床数】 計564床　一般558床　結核6床
【入院基本料】 急性期一般入院料　1
結核病棟入院基本料　7:1
小児入院医療管理料　4
ハイケアユニット入院医療管理料　1
地域包括ケア病棟入院料　2

【主な指定の状況】
救急告示病院
へき地医療拠点病院
外国人医師臨床修練指定病院
災害拠点病院
エイズ拠点病院
臓器提供協力施設
病院群輪番制病院
地域周産期母子医療センター
臨床研修指定病院(基幹型)
日本医療機能評価機構認定病院
地域がん診療病院

【附属施設等】
へき地巡回診療所
農村健診センター
訪問看護ステーション
指定居宅介護支援事業所

平鹿総合病院 profile

〒013-8610
秋田県横手市前郷字八ツ口3-1
TEL 0182-32-5121(代表)
FAX 0182-33-3200
E-mail hrkjmsom@air.ocn.ne.jp
URL https://www.hiraka-hp.yokote.akita.jp

病院の特徴

当院は、疾病の予防から高度先進医療まで横手市及び周辺市町村に一部岩手県内陸部も加わった横手二次医療圏(対象約10万人)の中核病院として機能しています。

1. 地域における中核病院
2. 循環器疾患に関しては広域での基幹病院的存在
3. 秋田県南部の周産期医療の拠点施設
4. 秋田県南部の小児療育医療の拠点施設

研究と教育を重く認識し人間性豊かな医療人の育成

県南エリアの医療の要

「より高度な臨床」「より深い研究」「より広い教育」「より積極的な保健活動」の『四つの柱』を職員が共有し地域の人々の生命と健康を守ります。

地域救命救急センター

循環器センター
脳卒中センター
透析センター
内視鏡センター

周産期母子医療センター

LDR室／陣痛室・分娩室・回復室が一体になった個室…自宅の居間にいるようなリラックスした環境で出産に臨んで頂けます。

雄勝中央病院

院長　小松田　敦

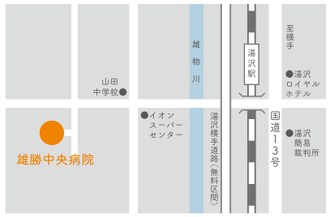
【診察科目】　計20科
内科　腎臓内科　神経内科　呼吸器科　消化器科
循環器科　小児科　外科　整形外科　脳神経外科
心臓血管外科　皮膚科　泌尿器科
産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科　リハビリテーション科
放射線科　麻酔科　歯科口腔外科

【病床数】　計366床　一般362床　感染4床
【入院基本料】　急性期一般入院料　4
地域包括ケア病棟入院料　2

【主な指定の状況】
救急告示病院
災害拠点病院
エイズ地域診療病院
病院群輪番制病院
臨床研修指定病院（基幹型）
地域がん診療病院
難病医療協力病院

【附属施設等】
訪問看護ステーション

雄勝中央病院 profile
〒012-0055
秋田県湯沢市山田字勇ヶ岡25
TEL 0183-73-5000（代表）
FAX 0183-73-3749
E-mail ogachi-1@lily.ocn.ne.jp
URL https://www.ogachi-hsp.jp



病院の特徴

当院は、秋田県内陸南部、湯沢市雄勝郡（医療圏人口約７万人）の中核病院として、小児から高齢者までのプライマリーケアから二次救急まで幅広い疾患に対応しています。湯沢市郊外の小高い丘に位置した病院で市街が一望され四季おりおりの素晴らしい景色を見ることができます。その眺めは、患者さんはもとより働く職員も和ませてくれます。

特色 1. 手術・化学療法から緩和ケアまでのがん治療、周産期・小児医療、透析センター（40床）での人工透析など、広範囲に地域の二次医療を担います。

特色 2. リハビリセンターを設置し脳卒中・外傷後遺症等に対する機能回復を支援する一連の診療体制です。

特色 3. 訪問看護ステーションを併設し、地域の医療機関と連携し地域の在宅医療に積極的に取り組んでいます。

信・望・愛

信・望・愛を基本とし
一、地域から信頼される医療
一、良質で希望溢れる医療
一、人間愛豊かな医療
を提供いたします。

先進医療に取り組みます

救急救命
いざという時に

やさしさ“信・望・愛”

安全と安心で得られる信頼される看護・地域と共に歩み、望まれる看護・やさしく温かい愛情ある看護の提供をめざします。

庭園リハビリ

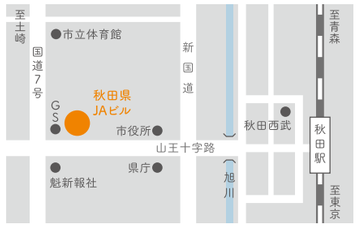
リハビリテーションセンターに併設された「リハビリ庭園」では、患者さんと共に野菜などの農産物を栽培しています。収穫した野菜は、給食の食材として提供し、患者さん方からとても喜ばれています。

JA秋田厚生連本所

本所は、病院のフォローをしながら、厚生連としてのスケールメリットを生かすための役割を担っています。情報を集約し、様々な業務の改善や推進に向けた方策を検討しています。
本所内には、大きく分けて４つの部署があります。

**環境の変化に柔軟に対応した
医療提供体制の構築を目指し、
地域医療の充実に向けて尽力いたします。**

JA秋田厚生連本所 profile
〒010-0976
秋田県秋田市八橋南2丁目10-16
JAビル6階
TEL 018-864-2621（代表）
FAX 018-864-2675
E-mail ja@akitakouseiren.or.jp
URL https://www.akitakouseiren.or.jp/



総務人事部：人事、給与、医療従事者の充足対策、勤務環境改善等を取り扱う
企画管理部：事業計画、収支、医事請求等を取り扱う
事業推進部：医療材料、建築・大規模修繕、保健福祉、情報システムを取り扱う
監　査　室：全病院を第三者的視点から監査する

一般財団法人 秋田県農村医学会

秋田県地方農村および地域の実態に立脚し、医学の進歩を図り、農村社会における医療と保健に関する全ての問題を調査研究し、その健全なる向上、発展を期することを目的としています。

事　業

学術大会の開催（年1回）
農村における健康を考える集いの開催（年1回秋田県種苗交換会行事の一環としてJA秋田中央会と共催）
秋田県農村医学会雑誌の発行
部門別共同研究班による農村医学研究活動の助成ならびに実施
秋田県農村医学会学会賞の授与（功労賞・学術奨励賞）
研究機関との学術交流（学術雑誌の交換等）
一般社団法人日本農村医学会への協力・提携
農村医療保健の向上および啓発・普及活動（テレビ放映および新聞掲載等）

人材育成

JA秋田厚生連では、「目指す医療と組織の姿」の実現のため、

「JA秋田厚生連グループの一体的な経営を実現し、地域に貢献する人材づくり」

を人材育成ビジョンと定め、取り組んでいきます。

この人材育成ビジョンに基づき、一人一人が身につけていきたい5つの行動特性と6つのマインドを11Seeds（イレブン・シーズ）と名付け、目指す姿の実現に向けて一人一人の花を咲かせていきます。

Ⅰ.組織・経営マネジメント（階層別）

組織における基準行動、役職者のマネジメントスキル等、組織で働くうえで必要なマインドセットを学んでいきます。

新入職員は、厚生連の歴史、医療の現状をはじめ、医療人としてのコンプライアンス、ビジネスマナー等も学びます。

Ⅱ.医療人としてのスキル・技術（レベル別）

医療安全、感染対策、個人情報、医療倫理等、病院で働く医療人として必須のスキルを学びます。職種別の職員集合研修では、グループ病院の職員間の情報交換・コミュニケーションも図っています。

また、各職種の職員育成プログラムでは、チーム医療推進等、時代の要請に応えられる職員を目指し、当会全体として必要とされる共通プログラムを策定し、優秀な職員の育成に取り組んでいます。

人材育成プログラム

薬剤師 〉〉〉 新人教育プログラム
診療放射線技師 〉〉〉 新人教育プログラム
臨床検査技師 〉〉〉 新人教育プログラム
リハビリテーション専門職 〉〉〉 新人教育プログラム
管理栄養士 〉〉〉 新人教育プログラム
看護師 〉〉〉 新人教育プログラム
事務職員 〉〉〉 職員育成プログラム

医療資格取得支援

高度化・専門化する医療現場に対応するために、より専門的な知識・技能をもった医療技術者の育成のための支援制度を実施しています。対象資格は、病院の運営上必要とされる国家資格およびこれに準ずる専門資格、認定資格等となっております。

＜対象資格＞
助産師・専門看護師・認定看護師・細胞検査士・超音波検査士・がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師・放射線治療専門放射線技師・医学物理士・NST専門療養士・心臓リハビリテーション指導士・診療情報管理士 等

e-ラーニング研修

指定された日時・場所ではなく、自分の好きな時間・好きな場所で研修を受講できるよう、e-ラーニング受講のツールを導入しています。すべての職員に対し平等に良質な教育機会を提供し、患者さんに対して良質な医療を提供するため、資質・能力・技術の向上に日々努めています。

Staff
職員紹介
「チーム医療」の一員として働く
Medical Staff

JA秋田厚生連の病院には、
「チーム医療」の一員として
様々な職種が働いております。

助産師
柴田 瑠奈
（青森県立保健大学出身）

私はお母さん達が子育てに不安なく退院できるように支援する助産師を目指して、一人ひとりに寄り添い、その人にあった看護を提供することを心がけています。特に妊婦さんが安心してお産に臨めるような声掛け、環境づくりを大切にしていきたいです。入職してから今まで様々なお産に関わってきましたが、赤ちゃんが生まれ、お母さん達が喜んでいる姿を見るのは何度経験しても感動する出来事です。また、患者さんが退院する際に私が行った看護に対して、感謝してもらえることも成長につながると感じています。

臨床検査技師
高橋 知里
（北里大学保健衛生専門学院出身）

私は、主に一般検査業務、血液・輸血業務を担当しています。日々の業務では、尿沈渣や血液像を顕微鏡で観察する業務に力を入れています。まだまだ知識不足や技術不足を感じていますが、上司や先輩方から指導していただき、徐々にできることが増えているので、やりがいも感じています。日々勉強して、迅速かつ正確に検査結果を提出できるように頑張っていきたいと思います。

看護師
乾 優花
（秋田市医師会立秋田看護学校出身）

私が働いている病棟に入院する患者さんは、手術を控えている方がとても多いです。術前～術後、回復の過程を見守ることができ、患者さんが元気に退院していく姿を見た時はとてもやりがいを感じます。患者さん一人ひとりが退院後どのように生活していくのかを把握し、チーム内や多職種で情報共有しながら個別性を考えた看護を心がけています。

薬剤師
小松 沙希
（北海道医療大学出身）

私は入院支援業務に力を入れて取り組んでいます。服薬指導の際に、治療に関する様々な不安をお聞きすることがあります。薬剤師として、その不安を解消することができたときにやりがいを感じます。患者さんが安心して、前向きに治療に取り組めるように関わっていきたいと考えています。

理学療法士
鈴木 陽太
（秋田リハビリテーション学院出身）

私は患者さんの身体と精神面の両方に寄り添える存在でありたいと考えながら日々患者さんと関わっています。患者さん一人ひとりの状態は大きく異なります。その人の身体に合ったリハビリの提供や、何気ない会話から患者さんの想いを感じ取ることを意識しながら、自分の理想の理学療法士に近づけるように頑張っています。また、患者さんから「ありがとう」と感謝の言葉をいただき、元気に回復され、笑顔で生き生きと帰る姿を見ることができた時はとても嬉しく思います。

作業療法士
中村 美来
（秋田大学出身）

リハビリテーションを通して回復していく患者さんの姿を見ることはもちろんですが、自分の知識や技術の向上を感じられることも、この仕事のやりがいの一つだと思います。様々な疾患の患者さんを見ることができる環境だからこそ、たくさんの経験を積むことができます。同じ病気や怪我であってもいろいろなアプローチ方法があるため、患者さんに合わせたリハビリテーションが提供できるようこれからも自己研鑽に励み、成長していきたいと思っています。

診療放射線技師
今 亮乃
（国際医療福祉大学出身）

私は患者さんへの接遇を特に意識して日常業務に取り組んでいます。検査自体がストレスにならないように、不安を取り除くことも診療放射線技師の役割の一つであり、なるべく多くコミュニケーションをとるようにしています。検査後に患者さんから感謝の言葉をいただくことが、仕事のやりがいの一つです。

管理栄養士
佐藤 里々花
（盛岡大学出身）

私自身、小学生の頃に食事療法を受けた経験があり、食べられない事に対して大きなストレスが伴うということを、幼いながらに身をもって知りました。そのため食事療法において患者さんが感じている苦痛や悩みに寄り添いながら、一人ひとりに合った指導・提案ができるよう心がけています。多職種との関わりの中で視野を広げながら自己研鑽に努めていきたいです。

事務職員
伊藤 菜七子
（秋田大学出身）

私は医事課に所属しており、入院された患者さんの入院会計を作成する業務を主に担当しています。直接医療行為は行いませんが、医療の知識や制度等は、会計を作成する際にも関わってくるので幅広い専門知識が求められます。また、医師や看護師等、様々な職種の人たちとコミュニケーションをとりながら業務を行っています。どんな検査や手術が行われ、薬が処方されたのか、どんな処置が行われたのかなど、カルテをよく確認しながら処理し、スムーズに入院や退院の処理を行うことができたときにやりがいを感じます。

言語聴覚士
藤村 凛
（東北文化学園大学出身）

私は患者さんの精神面にも寄り添えるような言語聴覚士になることを目標としています。リハビリテーションを行っている患者さんの中には不安や、焦り、混乱等の様々な感情を抱えている方もいらっしゃいます。これからもそのような患者さんの思いを傾聴し、寄り添い、少しでも前向きにリハビリテーションを行っていただけるように頑張りたいと思います。

臨床工学技士
三上 智華
（西野学園出身）

私は透析センターに務めており、穿刺業務を頑張っています。透析業務は患者さんとほぼ毎日顔を合わせるため、コミュニケーションをとり、信頼関係を得ることが大切だと考えます。会話や穿刺を行っていく中で、患者さんからの感謝の言葉を耳にすると達成感を感じます。

社会福祉士
佐々木 凜生
（東京福祉大学・秋田社会福祉専門学校出身）

私は退院支援と医療福祉相談を担当しています。退院支援では、病院内外の多職種と積極的にコミュニケーションを取ることを意識し、スムーズな退院を目指しています。医療福祉相談では、患者さんやご家族から寄せられる相談への対応、介護保険など法制度の活用に向けた説明をします。様々なケースに対応できるよう日々勉強しています。患者さんや仕事で関わる方の笑顔が見られたときにやりがいを感じます。

AKITA KOSEIREN

Support
福利厚生

職員の勤務意欲の増進、
文化の向上に役立てるために
様々な福利厚生制度が
あります。

1 定期昇給・賞与

定期昇給は原則として毎年1回、賞与は職員の勤務状況および会の業績に基づいて、原則として7月、12月などに支給しています。

2 週休2日制

年間120日程度のお休みがあり、このほかにも夏期休暇、お盆休暇、年末年始休暇があります。

3 有給休暇

初年度は10日間、2年目以降は20日間取得ができ、年度繰り越しできるため最高で40日まで取得可能です。

5 通勤手当

1.5㎞以上の徒歩、自転車、自家用車、バスなどの通勤は距離に応じて手当が支給されます。また、公共交通機関（電車、バス）利用者にも定期券1か月分を対象に支給しています。

4 借家・借間手当

宿舎や寮などはありませんが、独身者でアパートなどに居住している方に最大22,500円まで手当として支給しています。

6 育児・介護休業

男女共に子育てや介護をしながら働き続けることができる職場環境を整備しています。
①子育て中の短時間勤務制度や残業免除
②子供の看護休暇の取得
③パパ・ママ育休プラス
④介護休暇の取得

7 退職金

勤続1年以上から支給あり、在職年数に応じて支給しています。

8 社会保険

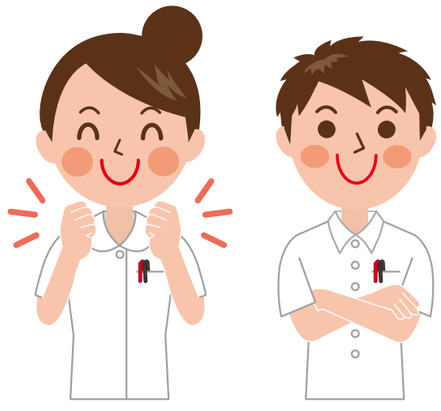
健康保険、雇用保険、介護保険、労災保険、厚生年金に加入しています。また、任意で団体定期生命共済に加入することもできます。

9 保養所補助金

宿泊施設利用で年度内3泊を限度として、1人1泊につき3,000円が補助されます。どこのホテル、宿泊施設でも利用可能で、パック旅行も対象となっております。

10 レジャー施設の利用補助

東京ディズニーリゾートや八景島シーパラダイスなどのレジャー施設を特別料金で利用できます。

11 奨学金

医師・薬剤師・助産師・看護師を養成する学校に在学中の方、又はこれらに進学しようとする方に奨学金を貸与する制度を設けています。